

夏場のベントグラス
管理が変わる
全米が認めた総合殺菌剤

芝生用/殺菌剤

オナーWDG[®]

®: BASF社の登録商標

 **BASF**

We create chemistry

夏場のベントグラス管理が変わる 全米が認めた総合殺菌剤

異なる作用機作をもつ「ピラクロストロビン」と「ボスカリド」

ピラクロストロビン(QoI)

- ストロビルリン系化合物。
- 葉内への浸透性を有し、耐雨性に優れる。
- 幅広い抗菌スペクトラムを有し、主に予防効果に優れ、治療効果も示す。

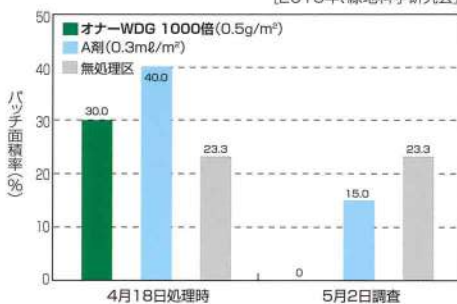
ボスカリド(SDHI)

- カルボキサミド系化合物。
- 優れた浸透性があり、有効成分がスムーズに葉先、葉縁に移行する。
- 耐雨性、残効性に優れ、散布ムラによる病原菌感染防止に寄与する。

西洋芝(ベントグラス)の多くの病害に高い防除効果

■炭疽病(発病後)

[2016年、緑地科学研究会]

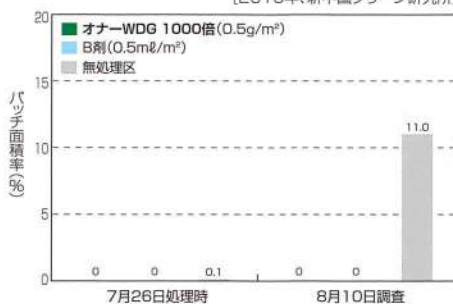


試験場所：香川県内ゴルフ場 ナセリー
供試芝：ベントグラス
発病程度：多発生
散布水量：オナーWDG (500ml/m²)
A剤 (300ml/m²)
処理日：4月18日(発病後)
調査日：5月2日

無処理区に比べ高い効果を示し、対照薬剤より高い効果を示した。葉害は認められなかった。

■赤焼病(発病前)

[2016年、新中国グリーン研究所]



試験場所：広島県内ゴルフ場 ナセリー
供試芝：ベントグラス(ペンクロス)
発病程度：中発生
散布水量：500ml/m²
処理日：7月26日(発病前)
調査日：8月10日

無処理区に比べ高い効果を示し、対照薬剤と同等の効果を示した。葉害は認められなかった。

■炭疽病、ピシウム病・赤焼病併発の同時防除(発病後)

[2016年、緑地科学研究会]



試験場所：香川県内ゴルフ場 ナセリー
供試芝：ベントグラス
発病程度：多発生
散布水量：オナーWDG (500ml/m²)
C剤 (500ml/m²)
処理日：8月9日(発病後)
調査日：8月16日、8月26日

無処理区に比べ高い効果を示し、対照薬剤より高い効果を示した。葉害は認められなかった。

■ダラースポット病(発病後)

[2015年、緑地科学研究会]

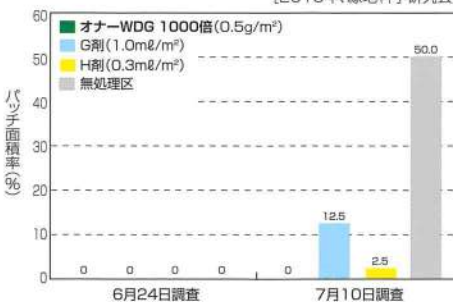


試験場所：山口県内ゴルフ場 ナセリー
供試芝：ベントグラス
発病程度：多発生
散布水量：500ml/m²
処理日：7月3日(発病後)
調査日：7月15日、7月28日

無処理区に比べ高い効果を示し、対照薬剤より高い効果を示した。葉害は認められなかった。

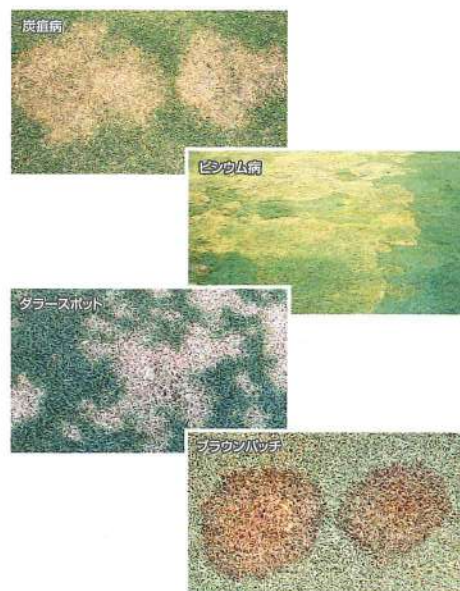
■ブラウンパッチ(発病前)

[2015年、緑地科学研究会]



試験場所：山形県内ゴルフ場 ナセリー
供試芝：ベントグラス
発病程度：多発生
散布水量：500ml/m²
処理日：6月10日(発病前)
調査日：6月24日、7月10日

無処理区に比べ高い効果を示し、対照薬剤より高い効果を示した。葉害は認められなかった。



夏場でもベントグラスへの高い安全性を有する

幅広い抗菌スペクトラムを有し、優れた予防・治療効果を示す

優れた浸達性が散布ムラを補完し、耐雨性、残効性に優れる

夏場のベントグラスへの高い安全性

●倍量薬害試験(夏期に4倍量散布)

[2015年、緑地科学研究会 香川県内ゴルフ場]

作物名	薬量/m ²	水量/m ²	散布日	調査月日	薬害
ベントグラス	1.33g	500ml	8月27日	9月4日	薬害無し
	2.66g			9月15日	

[2016年、緑地科学研究会 福岡県内ゴルフ場]

作物名	薬量/m ²	水量/m ²	散布日	調査月日	薬害
ベントグラス	1.0g	500ml	8月10日	8月25日	薬害無し
	2.0g				

●連用薬害試験

[オナーWDG2回処理]



試験場所:福岡県内ゴルフ場 ナセリー
供試芝:ベントグラス
投下薬量:0.5g/m²
散布水量:500ml/m²
処理日:6月21日、7月28日(2016年)
調査日:8月25日
試験機関:緑地科学研究会

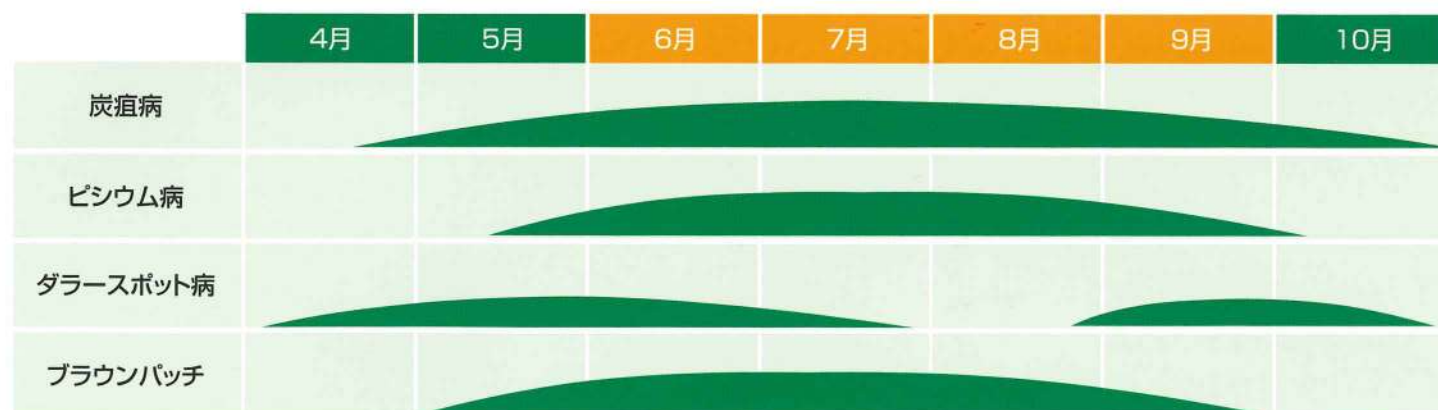
[無処理区]



倍量試験、連用試験いずれも植物体地上部、根部に薬害は確認されなかった。

オナーWDGの散布適期と上手な使い方

- 病害発病率が高まり、複数の病害に感染しやすい4～10月は特にオナーWDGの予防散布が有効です。
- ベントグラスへの安全性が高く、6～9月の夏季高温時においてもご使用頂けます。



オナーWDG散布適期

成分・性状・物理化学的性質・規格

農林水産省登録：第24031号

種類：ピラクロストロビン・ボスカリド水和剤

成分：ピラクロストロビン…6.8% ボスカリド…13.6%

性状：褐色水和性細粒及び微粒

規格：500g X 8袋

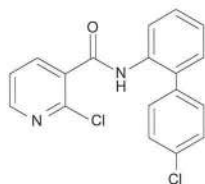
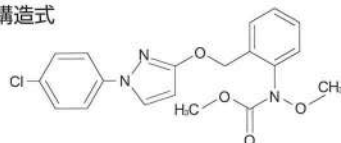
化学名：ピラクロストロビン

メチル=N-[2-[1-(4-クロロフェニル)-1H-ピラゾール-3-イルオキシメチル]フェニル](N-メトキシ)カルバマート

ボスカリド

2-クロロ-N-(4'-クロロビフェニル-2-イル)ニコチンアミド

構造式



人畜・環境への高い安全性

人畜毒性(製剤)：普通物(毒劇物に該当しないものをさすという通称)

LD ₅₀ (ラット、経口)	500~2000mg/kg
LD ₅₀ (ラット、経皮)	>2000mg/kg

魚毒性(製剤)

コイ	LC ₅₀	0.28mg/L(96時間)
オオミジンコ	EC ₅₀	0.46mg/L(48時間)
緑藻	EbC ₅₀	6.1mg/L(0~72時間)

適用病害と使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ピラクロストロビンを含む農薬の総使用回数	ボスカリドを含む農薬の総使用回数
西洋芝 (ベントグラス)	葉腐病(ブラウンパッチ) 赤焼病 ビシウム病 炭疽病 ダラススポット病	750 ~ 1000倍	500mL/m ²	発病前 ~ 発病初期	3回以内	散布	3回以内	3回以内

使用上の注意事項

- (1) 散布液調製の際は、水をかきまぜながら本剤の所定量を徐々に加えてください。
- (2) 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、本剤の過度の連用はさけ、なるべく作用性の異なる薬剤との輪番で使用してください。
- (3) 蚕に対して影響があるので付近に桑畑があるときはかからないように注意して散布してください。
- (4) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- (5) 誤飲、誤食などのないよう注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- (6) 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- (7) 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼してください。
- (8) かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- (9) 公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- (10) 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- (11) 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- (12) 直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

- ラベルをよく読んでください。
- 記載以外には使用しないでください。
- 小児の手の届くところに置かないでください。
- 空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

BASFジャパン株式会社

〒106-6121 東京都港区六本木6丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー21階

☎0120-014-660 FAX 03-3796-9419

https://agriculture.basf.com/jp

BASF00854 1
201802